学校番号	3018

令和２年度　**芸術**　科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	（1）単位	年次	（2）年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ２						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽的成長を目指します。
・合唱、器楽を中心に半期を通して学習し、音楽Ｉで学んだ表現をさらに発展させ、さらに音楽的な表現を目指します。
・創作曲の発表を通して、音楽理論の基礎となる読譜する力、記譜をする力を伸ばします。
・発表会を通して、独自の表現能力をさらに高めます。
・生涯にわたり音楽を楽しむ力、芸術文化の理解を発展させ楽しむ力を育てます。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化の理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を表現することに喜びを感じ、音楽的な表現方法や音楽文化への理解を深め、積極的に表現や創造活動に工夫して取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて個々に応じた表現意図をもっている。	創意工夫を生かし、深く音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考え、音楽表現の特徴について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	ミュージカルを味わおう	【歌唱・鑑賞】 ミュージカル『レ・ミゼラブル』鑑賞する ミュージカル表現に取り組む 深い発声、豊かな声で歌う	○	○	○	○	a:音楽を深く表現することに喜びを感じ、音楽的な表現方法や音楽文化への理解を深め、積極的に表現や創造活動に工夫して取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容等と関わらせていかに深く表現するか、表現意図をもっている。 c:深く音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽表現の特徴について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察・ワークシート
	リズムを修得しよう	【器楽・創作】 リズムの基礎を復習しする ドラム奏法の基礎を練習する『リズム2重奏』 リズム響きを共有しながら合唱する	○	○	○			観察・演奏の聴取・ワークシート
	和楽器の演奏を深めよう	【器楽】 三線『海の声』 弾き語りをする	○	○	○			観察・演奏の聴取・ワークシート
前期期末	創作曲を発表しよう	【創作・鑑賞】 各自テーマを決め、創作曲を作曲し、コード伴奏をつけ、演奏発表する	○	○	○	○	a:音楽を深く表現することに喜びを感じ、音楽的な表現方法や創造活動に積極的に、工夫して取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容等と関わらせていかに深く表現するか、表現意図をもっている。 c:深く音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽表現の特徴について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察・演奏の聴取・ワークシート
	発表曲を練習しよう	【歌唱・器楽】 文化祭に発表する曲、芸術文化発表会に参加するコンクール曲を決め、合唱練習する	○	○	○	○		観察・ワークシート
	グループ発表をしよう	【歌唱・器楽】 自由課題:自分達で選んだ曲を深く、独創的に表現して演奏し、発表する。 発表会を運営する。	○	○	○	○		観察・演奏の聴取・ワークシート

※　表中の観点について　　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。